

2026年3月22日

報道関係各位

「ジャパンインターナショナルボートショー2026」閉幕

「もっと海が近くなる・・・」をテーマに掲げ、次世代に繋がるマリンレジャーの魅力を訴求

一般社団法人日本マリン事業協会は、2026年3月19日（木）から22日（日）までの4日間、パシフィコ横浜展示ホール及び横浜ベイサイドマリーナを中心に、ぶかりさん橋、日本丸シーカヤックパーク、八景島マリーナにおいて「ジャパンインターナショナルボートショー2026」を開催しました。

65回目を迎えた今回は「もっと海が近くなる・・・」をテーマに、最新のボート、ヨット、水上オートバイ、マリン用品の展示に加え、各種体験プログラムやセミナー「海ゼミ」など、初心者からベテランユーザーまで幅広い層が海を身近に感じられる多彩なプログラムを展開しました。

4日間の総来場者数は41,874名となり、幅広い層の来場で各会場は賑わいました。中でも注目されたのはキッズ層の広がり、子どもの来場者数は過去最高の5,000名超を記録。総来場者の約1割を占め、次世代のマリンファン育成につながる体験機会の広がりを出す結果となりました。



●ご来場者数 41,874 名（5会場・4 日間合計）

2026年3月19日（木） - 22日（日）				2会場合計来場数 （開催4日間）
日程	合計来場数	内 訳		2025年
		パシフィコ横浜	横浜ベイサイドマリーナ	
3/19（木） 曇/雨	7,907	6,288	1,619	10,999
3/20（金） 曇/雨	11,712	9,223	2,489	10,600
3/21（土） 晴	12,785	10,259	2,526	14,119
3/22（日） 晴	9,470	7,387	2,083	9,664
4日間合計	41,874	33,157	8,717	45,382

5会場で約5000名を動員したファミリーマリンパーク

今回のボートショーでは、各会場で参加型コンテンツに高い関心が集まり、海やボートに初めて触れる来場者にとっても、マリンの楽しさや可能性を実感できる場となりました。

ご家族連れを対象とした「ファミリーマリンパーク」では、八景島マリーナ、日本丸シーカヤックパークを含む5会場で計17種類のプログラムを実施。パシフィコ横浜会場では「こどもボート免許スクール」や「おえかきマイボート」、「キッズビレッジ」の各種プログラムなど、子どもたちのマリンへの興味・関心を高める企画を展開し、“見る”だけでなく“触れる・乗る・学ぶ”ボートショーとしてマリンレジャーの魅力を幅広くアピールしました。



パシフィコ横浜会場では子どもボート免許やキッズ・プログラムなどファミリーで楽しめるさまざまな企画を実施



横浜ベイサイドマリーナではキャプテンKIDS体験を実施。SUP、小型ヨット、スモールボートなど、乗り物の特性を楽しく学べるプログラムを実施



帆船みらいへの体験プログラム。子どもたちが楽しみながら帆船の仕組みを学ぶ内容となっていた



日本丸シーカヤックパークでは、ボートショー特別体験プログラムを実施。家族連れの希望者で連日盛況



八景島ではクジラキャンプ（生態学習）とセーリングカッターの海洋実習を実施。晴天に恵まれて体験クルージングを楽しんだ

多彩なプログラムで人気を博したイベントステージ

ボートショーの人気プログラムであるイベントステージでは、2026年の日本マリン事業協会マリンアンバサダーに任命された野口絵子さんの任命式をはじめ、海洋冒険家・白石康次郎さんや、子どもたちから絶大な人気を集める、さかなクンによるトークショー、今回のボートショーで大賞が発表された日本マリン賞の表彰式など、多彩なプログラムを実施。さまざまなゲストからマリンの魅力を発信いただき、多くの来場者を魅了する場となりました。



ステージには海洋冒険家の白石康次郎さんをはじめ、マリン業界を牽引する著名人が登壇



さかなクンが登場したスペシャルステージには、子どもたちが大集合



日本マリン事業協会マリンアンバサダーに就任した野口絵子さん。2026ミス日本グランプリ・ミス日本「海の日」としても活躍中



「日本マリン賞2026」の大賞・国土交通大臣賞は、海洋冒険家の白石康次郎さんが受賞

マリンライフのステップアップとなる体験乗船

横浜ベイサイドマリーナでは体験乗船の4講座を実施。ボート免許がなくても操船ができる「船長にチャレンジ」やパーパードライバー向けの「操船レッスン」など、約400名の方々に体験・参加をいただきました。



◆出展社・団体数

	2026年	2025年
内訳	パシフィコ横浜 横浜ベイサイドマリーナ出展	パシフィコ横浜 横浜ベイサイドマリーナ出展
	198社・団体	198社・団体

◆出展プロダクツの内訳（カッコ内2025年）

昨年に続き、電動エンジンの展示が増加し、環境意識の高まりが見られる。

プロダクツ	出展製品数
ボート	100隻 (128)
ヨット	15隻 (15)
PWC（水上オートバイ）	42隻 (32)
カヌー、カヤック、SUP、サーフボード	34隻 (63)
マリンエンジン【電動エンジン】	82基 (21) 【64基 (30基)】
合計	273 (302)

※ボート、ヨット、マリンエンジン等、複数種の製品を展示している出展者があるため、出展者数計、出展製品数は差異があります。

〈各会場の参加者／4日間合計〉

○ぷかりさん橋会場：○電動ボート：341名／○帆船みらいへ：670名

○日本丸シーカヤックパーク会場：203名

○八景島会場：37名

*掲載画像はボートショーホームページからダウンロード可能です。

<https://www.boatshow.jp/jibs/2026/press/>

◆本件に関するお問合せ先◆

- 2027年（第66回）ジャパンインターナショナルボートショーの開催予定
- 〈会期〉2027年3月19日（金）から 22日（月）の4日間
- 〈会場〉パシフィコ横浜、横浜ベイサイドマリーナ他

(一社) 日本マリン事業協会 担当：下田 shimoda@marine-jbia.or.jp
 東京都中央区八重洲二丁目10番12号 国際興業第2ビル4階
 TEL：03 - 5542 - 1205（ボートショー運営デスク）